
2023年12月9日－令和5年度第8回 グラム日本人学校 定例理事会議事録

時間： 午後2時～午後4時30分

場所： 日本人学校会議室

出席者：権田、時任、井手、小形、木村、許、渡辺（た）、
井上、プール、スミス、今津

（オンライン参加）伊藤、武石

欠席者：二宮、

渡辺（奈々）

議長：時任

記録：渡辺（た）

定数確認：議決権のある理事の全員参加により、本会議は正式に開催されることが確認された。

議題：

1. 討議事項

1.1 来年度理事会体制について

渡辺理事より、学校経営の課題解決に向け、経営課題とその原因、それに対する解決案（1、理事会の位置付け、各組織の再定義、2、常任学校長の配置（2024年3月1日から）、3、理事会構成メンバーの見直し（2024年4月から）の提案がされた。議決権のある理事9名のうち賛成8、反対1により以下の提案について条件付きの承認がされた。

提案事項：提案内容詳細は添付資料を参照

- 1) 理事会の位置づけ、各組織の再定義：現在の理事会下に各学校（全日・補習・幼稚部そして事務局）がある組織から、学校オペレーション（全日・補習・幼稚部）の長として、常任の学校長（※）を設置する組織。
- 2) 学校における最上位職として常任の学校長を新設する。
※条件：役職名および、詳細な権限については次回理事会にて協議すること。
- 3) 学校の経営と、教育の経営を切り離れた組織および理事会構成メンバーとする。

上記の趣旨

- 1) 現体制では、長年にわたって赤字経営が続き、解決に向けて状況が変化できていない。特に月1回、ボランティアで参加している理事が過半の理事会だけでは、経営改善は困難。よって学校の経営を管理、執行する常勤の責任者が学校には必要。
- 2) 経営の改善、安定化にむけて大事なものは、理事、教職員がそれぞれの持ち場で、それぞれの能力を発揮すること。現在の体制では、必ずしもそれができていない。よって、組織体制、理事会構成員については、経営と教育現場の経営を切り離れた体制としたい。

議論された主な懸念事項

- 1) 校長・園長にどこまで任せてくれるのか？など学校長（仮称）と校長・園長の権限と責任が不明確。→次回理事会での審議事項となった。
- 2) 学校長（仮称）を設置せずとも、現在欠員となっている事務局長がいれば、学校における教育以外の取りまとめができるのではないかと。→その体制下においては長年経営課題が解決されてこなかった実績がある。今回提出した資料の過去10年間の収支状況および日本人会ホームページで見ることができる日本人会総会議事録を見れば、長い期間課題と認識されながらも現体制では改善がされてこなかったことがわかる。

1.2. 幼稚部新体制および幼稚部経営方針について

- 1) 時任理事より園長を兼務することについて、本理事会前に、議決権のある理事間で、電子的手段（チャット）による承認がされたことが改めて報告された。尚、同職は、昨年までと同様に日本人学校教育部長による兼務、尚且つ無給のボランティアとして執行される。
- 2) 時任新園長より、Kindergarten Strategic Plan 2024の提案が行われ、ミッションと2024年度の幼稚部経営方針が議決権のある理事9名全員の賛成により承認された。特に経営方針においては、現状の教員数から、今まで行ってきた収益改善のための生徒数拡大戦略を推し進めるのではなく、限られた人的リソースの中で教育の質を高めることとした。
- 3) ミッションに基づき、以下の今期開始の新規プログラムが報告された。
 - ① 日本語レベル別編成
 - ② 有料チューター制度の開始
 - ③ 親子教室「ぐるんぱ」の創設
 - ④ ママ先生パパ先生プログラムの開始

1.3.幼稚部における 性教育について

- 1) プール理事より幼稚部で行う性教育について、以下の提案がされた。
 - ①性教育の実施による影響（良い、悪い両面）については、科学的な効果検証がされたものは存在しない。その前提で教育に取り組んでほしい。
 - ②性教育については、特に米国において各家庭の価値観によるものが多く、学校がどちらかの価値観に偏ることは、今後の学校運営において避けたほうが良い。（中立であることが大事だと思う）
- 2) 上記提案を受け、時任理事より以下のとおり説明がされた。
 - ①貴重な参考意見として、幼稚部教員と受け止めたうえで、性教育を実施する。
 - ②性教育の実施についてはは保護者に事前に教育する内容を伝え、子供が教育を受けるか、受けないかは保護者に判断いただくことを前提としている。

2. 各部報告

2.1 各部報告への質疑応答

別紙のとおり

2.2 事務局・会計・経理部門

- 1) 井上理事より 11 月までの会計報告がされた。
- 2) 渡辺理事より、来年度の予算策定を行っていることが報告された。必要な費用とそれに見合う収入をどのようにバランスさせるか検討のうえ、1 月の理事会にて提案をする旨、報告がされた。

2.3 人事部門

伊藤理事より人事関連の課題への取り組み状況が報告された。

2.3 全日制・全日制 PTA

井手校長より英語及び外国語の授業について、中学部卒業後に現地の高校に入学する生徒のことを鑑みると、現在の中学部の外国語（英語）の授業は文科省課程によったものであり、簡単すぎる点、現地高校に入学するためにはそれ以上の英語学習が必要である点から、以下 2 点の提案があり、議決権のある理事 9 名全員の賛成により承認がされた

- 1) 現地校進学コースと帰国生コースを開設する。現状、中学部の外国語は現地校進

学の生徒には簡単すぎるため。

- 2) イメージョン教育の推進→ネイティブ先生が他教科(図工、音楽など技能教科)を教える。

尚、来年度の予算策定のために、本件を推進するうえで必要と思われる費用に関しては12月22日までに事務局まで提出することが約束された。

2.4 補習校・補習校 PTA

- 1) 小形校長より 来年度の授業計画について、12月中旬に保護者にアンケートを取ることが報告された。
- 2) 11月理事会で提示された「グアム日本人学校の魅力向上に向けた基礎調査アンケート結果」より、土曜日に授業を集中してほしいニーズがあったため、今回、補習校保護者全員に対して、改めてニーズを確認することとした。
- 3) また算数数学を土曜日に選択することを可能にして、多くの児童生徒が算数数学の授業を受けられるようにする方針が説明された。

尚、来年度の予算策定のために、本件を推進するうえで必要と思われる費用に関しては12月22日までに事務局まで提出することが約束された。

2.5 幼稚部

すでに新体制、今後の経営方針が説明されたため、追加の口頭での報告事項はなし。

3. 2024年1月予定

3.1 伊藤敏江さんによる月例トレーニング 1月7日(日) 14時

3.2 1月理事会 1月13日(土) 14時

4. 日本人会より

4.1 日本人学校への寄付を前提とした以下イベントの案内が時任理事よりされた。

- 1) チャリティーゴルフ 1月21日(日)
- 2) 5K イベント 2月25日(日) 予定

4.2 5K イベント(マラソン)について今後、理事、学校教職員に対して実行委員会への参加者を募集する旨、案内があった。

(了)